



志を立てよ！
トップを目指せ！

麻生学園小学校 学校通信

至心



令和3年度
第5号【9月】

東京オリンピック・パラリンピックから

教頭 出田 周文

今年は、延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが、コロナ禍の中で開催されました。日本の選手の皆さんは、素晴らしい結果を残してくれました。特にオリンピックでは史上最多のメダル獲得でした。見ていて心躍りました。

しかし、メダルに関係なく、全ての選手がこの5年間、今回のオリンピックを目指して、それぞれの人生をかけて、我々には想像もつかないくらいの苦しくきつい練習を積み重ねて、その競技に打ち込んできたことだろうと思います。世界中の全ての選手がそうでしょう。もし今回のオリンピックが中止になっていたら、世界中の選手の皆さんの長年の多大な努力が水泡にきすことになり、計り知れないおなしさや心痛を受けたことだと思います。その点では、無観客ながらも開催されてよかったと思われまます。

選手の皆さんがひたむきに打ち込んできた成果を発揮すべく一生懸命に競技する姿、様々な障害を乗り越えて競技する姿には、心を大きく動かされました。勝って喜び涙する姿に感動し、敗れて悔しくて涙する姿に深く共感し、見ていてこちら心も熱くなりました。人が一生懸命に打ち込んでいる姿には、大きな感動を覚えます。

競技後の選手のインタビューで、実に多くの選手が、たくさんの方々の尽力のおかげでオリンピックが開催されたこと、多くの方々の支えがあって自分がこの大きな舞台に立てたことに、感謝の言葉を述べていました。選手の皆さんが感謝の心を忘れないことへの素晴らしさも感じました。選手の皆さんの、一生懸命競技する姿を見たり、言葉を聞いたりしていると、皆さんの長い年月の膨大な努力の成果を発揮できる場があったことについて、私も開催に努力された方々への感謝の気持ちが湧き起こりました。また、目標をもって、それに向かってくじけずに一生懸命に取り組むことの大切さも、あらためて強く感じられました。

今回のオリンピック・パラリンピックは、コロナ禍で様々な問題もあったと思いますが、選手の皆さんの姿に、大きく強く心を動かされた大会、多くを学べた大会でした。

子ども達にも、オリンピック・パラリンピックに限らず、様々な場で、人の姿に無関心・無感動ではなく、熱い思いをもったり、多くを感じ取ったりすることができる心をもってほしいと思います。そして感じ取ったことを、自分の日常の生活に、また、大きくは自分の人生に生かす心や実践力と、困難にくじけない強さをもってほしいと思います。きっと、豊かな人生を歩んでいけることでしょう。

あとは、新型コロナウイルス感染が収まるのを願うばかりです。

★私立中学校説明会

- 7日(火) 上智福岡中学校
 - 14日(火) 大濠中学校
 - 21日(火) 東明館中学校
- ※いずれも 13:55～14:35 多目的ホールにて
※参加対象児童は、5,6年生ですが、保護者の皆様はお子様の学年を問わず参加可能です。
申込等は不要です。どうぞお越しください。



★芸術鑑賞会

コロナウイルス感染状況が特に厳しい福岡市のキャンナシティへ全校で出向いて鑑賞会を開催するのは、あまりにもリスクが大きく、誠に残念ながら、中止することになりました。

★24日(金)終業式の日

大掃除の後、11:30一斉下校、ランチなし
児童下校後すぐに職員でワックスがけをしますので、アフタースクールはありません。

★秋休みと2学期始業式

- 土日を含めて、9月25日(土)から9月30日(木)まで、秋休みです。
- 10月1日(金)が、2学期始業式です。

9月		行事予定	10月		行事予定
1	水	オンライン授業	1	金	始業式、西南学院中学校説明会
2	木	↓	2	土	
3	金		3	日	
4	土		4	月	
5	日		5	火	実力テスト6年
6	月		委員会活動	6	水
7	火	上智福岡中学校説明会	7	木	
8	水	夏休み作品展(～15日)	8	金	
9	木		9	土	公開授業、懇談
10	金	知のオリンピック	10	日	
11	土		11	月	委員会活動
12	日		12	火	お弁当の日
13	月		13	水	
14	火	お弁当の日、耳鼻科検診 大濠中学校説明会	14	木	
15	水		15	金	
16	木		16	土	クラブ活動
17	金	実力テスト6年	17	日	
18	土	小学校入学体験会	18	月	
19	日		19	火	
20	月	敬老の日	20	水	
21	火	東明館中学校説明会	21	木	
22	水		22	金	
23	木	秋分の日	23	土	
24	金	終業式、大掃除、11:30下校	24	日	運動会
25	土	秋休み	25	月	振替休日
26	日	秋休み	26	火	
27	月	秋休み	27	水	
28	火	秋休み	28	木	
29	水	秋休み	29	金	実力テスト1～5年
30	木	秋休み	30	土	小学校入学体験会
			31	日	運動会予備日

学級通信紹介コーナー

5年「照千一隅」(7月9日号)より☆なぜ、「書くことを嫌がらない子」を育てる必要があるのか☆
結論から言えば、考える子を育てるため、考えることを放棄しない子を育てるためです。では、考えるとは、どういうことでしょうか？考えているか、いないか、その目印となるものは何だと思いますか？それは、人が書いているかどうかです。本当に何かを考えた時には、そのプロセスや結論のようなものを何かしら書いている(アウトプットしている)はず。腕組みをしてうなづいているだけでは、考えたつもりになっているだけであり、考えたとは言えません。頭の中にあるものを、書いてはじめて、考えたと言えます。つまり、「書く＝考える」なのです。考える子・考えている子○ノートをきちんととる、自分なりにアレンジして書く○思いついたことを紙に書く、メモを取る○記述問題にも何とかして答えようと文を書いている○読むのも、書くのも好き○作文が好き(得意でなくとも、嫌いではない)考えることを放棄する(した)子▲ノートを取らない、とことろろしか書かない▲頭の中で覚えておこうとする、書こうとしない▲記述問題は空欄のまま、書こうとしない▲読むのはいいけど、書くのは面倒▲作文は嫌い(文を書こうとしない) これらから、書くことを嫌がる子は、黄色信号です。逆に、書くことを厭わない子は…賢い子が多い
私は毎年、初めて受け持つことになる4年生の最初の授業で、「書くことを厭わない」ことについての重要性を訴えています。教科に関係なくつけていきたい力です。(広報担当 田中)

